

(指定様式)

団体調書【はじめての一步部門】

(1) 団体概要

団体名	特定非営利活動法人アイリス	HP 等 URL	https://airisu.or.jp
団体種別と 設立年月	■NPO 法人 (2021 年 7 月) □その他法人 (年 月) □任意団体 (令和 2 年 12 月)	活動分野	1 3 9 10 16 18
代表者名	役職名: 代表理事 氏 名: 山本正博	会員数	10 名
団体連絡先 (申請担当 者)			

(2) 会員名簿

(3) 団体の活動目的

活動の目的・ 目標	<p>目的 SDGs ゴール 3「すべての人に健康と福祉を」の達成を目指す。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者の「ちょっと手伝って」「こんなこと、して欲しい」などの、かゆいところに手が届く、介護保険外自費サービスを展開して、高齢者の移動と日常生活支援をすることで、高齢者の OOL 向上を図る。・体力測定テストプログラムを構築、定期的に体力測定を実施する。測定結果に基づき、体力維持・増加が必要な弱点を知り、介護予防運動に反映。DUEI ブランド・ロム防止に寄与して、介護予防を図る。・要支援者の福祉有償運送業務の展開で、日常生活の活動範囲を広げる。
活動の内容・ 活動実績	<ul style="list-style-type: none">・2021 年 7 月～ 豊田市プロボノシナジープロジェクトに参加。体力測定テスト実施要領の構築を課題として進める。福祉有償運送業務の効率化システム構築を進める。・2021 年 10 月より介護保険外自費サービスを開始。・2022 年 10 月第 1 回講義と体力測定開催 保見交流館・2023 年 2 月第 2 回講義と体力測定開催 保見交流館・2023 年 3 月第 6 回 Welove とよたに初出展 スカイホール・2023 年 3 月第 1 回キャンパ・スワーキング開催 中京大学キャンパス内

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

補助金の使用用途 ・活用する活動・事業内容 介護予防活動における、体力測定テストプログラムの構築と実施要領整備並びに開催。 ・補助金の使用用途 印刷製本費 15,000 円 ① 印刷紙・インク・チラシ製作費用 (15,000 円) 使用目的：運動テスト及び講義内容宣伝用チラシ。 効果：広く地域の方に当プログラムを周知して頂く。 消耗品費 20,000 円 (合計) ① 備品名：名札・筆記具 (10,000 円) 使用目的： 効果：記名表示による参加者の識別を容易化。 ② 備品名：スタッフユニフォーム (10,000 円) 使用目的：関係者と利用者の識別のため 効果：スタッフ識別により運営の効率化。 使用料 15,000 円 ① 品名：施設利用料金 使用目的：講義及び体力測定開催会場使用料金。	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</p>	<p>国が推進する総合的介護予防システムは、国民の健康寿命をできる限り延ばすとともに、真に喜ぶに値する長寿社会を創成することをめざしている。</p> <p>豊田市も健康づくりの指針を「自分の健康は、自分で守る」ことを意識し、主体的に健康づくりに取り組むため、フレイル予防や健康寿命を延ばす活動が展開されている。</p> <p>展開される筋力アップ活動では、筋力アップの方法や効果を知る活動はなされるが、目標とする筋力アップの指針を部位別に数値で見える化して、筋力アップ活動をしていない現状がある。</p> <p>そこで、アイリスは体力測定テストプログラムを構築して、鍛える目標を数値で見える化することで、年齢別の各部位筋力アップ目標値と、各部位ごとの筋力アップの必要性や効果について説明を提供して目標を定め、継続して行うことで、フレイル予防・ロコモティブシンドローム予防で長寿社会の創成に寄与する。</p>
<p>【資金】</p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動テスト参加者から参加費 500 円を徴収して、会場利用料等に充てる。 ・将来は、各地区で活動している「元気アップ活動」とコラボして体力測定テストプログラムによる、筋力アップ効果と筋力アップ目標値を設定、運動を続けるように働きかける。 ・寄付や助成金獲得活動を継続して、運営を消滅させない。
<p>【継続性】</p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</p> <p>・適正な事業計画が作成されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度豊田市プロボノシナジーで、アイリスに参画して頂いたプロボノさんと現在も連携して、体力測定テストの企画ブラッシュアップを継続している。 ・体力測定テストの定期的開催により、運営に関する問題点抽出と対策を行い、PDCA サイクルを回して運営精度の向上を行う。 ・体力測定テスト整備を継続して、2023 年 3 月開催の「とよたフェスタ」で、お披露目時好評のため次年度出展を目指す。